

2010年1月20日

(第27号) 新春号

獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



日本医療機能評価機構

謹賀新年

日本医療機能評価機構認定病院

平成22年(2010年)

1月



第27号



新年のご挨拶

病院長 北島 敏光



明けましておめでとうございます。

新年にあたり、大学病院を代表して謹んでご挨拶を申し上げます。

獨協医科大学は今から36年前の1973年4月に開学し、当大学病院は翌年7月に国内外からの大きな期待を担って開院しました。当時の病床数は850床でしたが、現在は1,167床と増加し、全国にある80大学附属病院中で7番目の規模となりました。開学当時に植樹した病院前のイチョウの木々も現在は大きく生長し、秋にはイチョウ並木が黄金色に輝き、外来患者さんに好評を博しています。また、中庭の桜の木々も年々幹が太くなり、春には満開の桜の花が入院患者さんの心を癒してくれます。

当大学病院は開院当時から多くの患者さんにご支援をいただいてきましたが、昨年度の外来患者数は延べ65万人、入院患者数は延べ39万人となりました。医療技術の進歩、高度な医療機器の開発などによって35年前の開院した当時では考えられないような病気の診断や治療を行っています。実際に、昨年の1月には関東甲信越地区では初の脳死肺移植手術に成功しました。当大学病院は関東甲信越地区で唯一の脳死肺移植施設であり、以前から行っている肝臓や腎臓の移植と共に肺移植にも貢献していく所存です。

また、1年前に北関東自動車道の茨城県側が水戸まで全面開通いたしました。東京の病院で受け入れを拒否された患者さんが救急車で東北自動車道と北関東自動車道を通って当院に搬送されることが多くなりました。これからも東京から緊急搬送される患者さんが増加されることが予想されますので、壬生インターからの直線道路が一日も早く開通することを願っています。また、本年1月20日から栃木県初のドクターヘリの運行が開始されました。これは救急医療現場に医師と看護師をいち早く派遣し、初期治療を行い、重症患者さんを近隣の医療機関へ搬送するものです。ドクターヘリは栃木県内ならば20分以内に到着できますので、多くの患者さんの救命に繋がるものと期待します。

当大学病院は2年前から外来棟のリニューアル改修工事を開始し、内装、電気設備、空調設備、給排水設備の更新などを行ってきましたが、外来を受診される方々には大変なご迷惑をおかけしました。しかし、皆様のご協力のおかげで本年3月末をもって終了する予定で、この改修工事によって病院内が明るく、より清潔な環境を皆様に提供できるようになります。また、最新の事務機器の導入、分かり易い案内板の設置などによって患者さんの利便性が高まるものと確信しています。

最後になりますが、当大学病院は北関東医療圏の基幹病院として高度な医療の実践と地域医療への貢献に務めてまいります。皆様におかれましては、ぜひとも、当大学病院を引き続きご支援いただきますよう衷心からお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

部門紹介

シリーズで当院の各部門をご紹介します

連携医療部

連携医療部の業務内容

連携医療部では、地域医療機関との病診連携の充実・推進、及び特定機能病院と地域医療機関との役割分担の推進を目的として、以下の業務に取り組んでいます。

主な業務内容

- ①紹介状・逆紹介状・報告書などの見直し及びデータの一部管理
- ②外来担当医一覧表・診療科案内などの印刷物の刊行
- ③医療機関の情報把握
- ④地域医療機関との連携に関する業務全般に関する問い合わせ



「第5回獨協医科大学病院連携医療懇話会総会」開催

去る平成21年10月23日（金）、予てより準備を進めて参りました「第5回獨協医科大学病院連携医療懇話会総会」を、宇都宮グランドホテルにて開催いたしました。

連携医療懇話会総会は当院の理念であります「連携医療の構築」として、病診、病病連携を構築すること、すなわち地域の医療機関の先生方との『顔の見える連携』を行うことを目的として開催しております。

今年の講演会テーマは「アレルギー疾患～診療のUP - TO - DATE～」で、呼吸器・アレルギー内科、小児科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、それぞれの分野より講演を行いました。講演会後の情報交換会におきましては病院長・副院長をはじめ、学長、副学長、各診療部長そして医局長や外来・病棟医長の先生方を中心に地域の医療機関の先生方と親睦を深め、患者様へより良い医療を提供するための情報交換を行いました。



石井芳樹教授



吉原重美准教授



春名眞一教授

講演テーマ「アレルギー疾患～診療のUP-TO-DATE～」

「成人気管支喘息」

呼吸器・アレルギー内科

石井 芳樹 教授

「小児気管支喘息」

小児科

吉原 重美 准教授

「下気道疾患と関連した副鼻腔炎について」

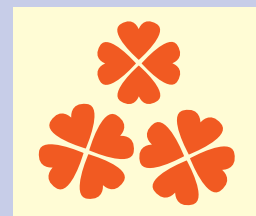
耳鼻咽喉・頭頸部外科

春名 眞一 教授

身近な病気 Q&A



慢性腎臓病(CKD)について



循環器内科 教授 石光 俊彦



慢性腎臓病(CKD)とはどんな病気ですか？

慢性腎臓病は英語のChronic Kidney Diseaseの頭文字をとってCKDと呼ばれています。腎臓にはいろいろな病気が起こることがありますが、原因がどんな病気であっても、血液検査、尿検査あるいは超音波、レントゲン検査などで、腎臓に持続的に何らかの異常が認められる場合にCKDと診断されます。これらの中で、尿検査で蛋白尿が出たり、血液検査でクレアチニンという物質を測定して、そこから計算される糸球体濾過量(GFR)という腎機能の指標が60%未満に低下している場合が重要です。



CKDは体にどんな影響があるのですか？

CKDが進行すると腎機能が低下し腎不全になります。腎臓には毎分約1Lの血液が流れてきますが、腎臓では血液が浄化され、不要な水分や物質が尿中に出されます。また、腎臓では血液の中の赤血球を増やすのを助けるホルモン(エリスロポエチン)や血圧を調節するホルモン(レニン)が作られています。従って、腎不全が重症になると血液中に有害な物質が増え食欲低下や吐き気、貧血が進み息切れや倦怠感、体に余計な水分が溜まりむくみや高血圧、そして肺に水分が増えると息が苦しくなります。このような状態(尿毒症)になると、透析を行って血液を浄化するとともに過剰な水分を除去する必要があります。

また、CKDでは、腎不全に進行する心配があるだけでなく、脳卒中や心筋梗塞など心臓血管系の病気が起こりやすいことが問題になっています。腎臓の中には血管が多く、CKDで腎臓の血管に障害がある場合には、同じような障害が心臓、脳や全身の血管に起こっていることが多いのです。このため、獨協医科大学病院の循環器内科では心臓や血管の病気とCKDのような腎臓の病気を一緒に診療しています。



CKDの原因は何ですか？

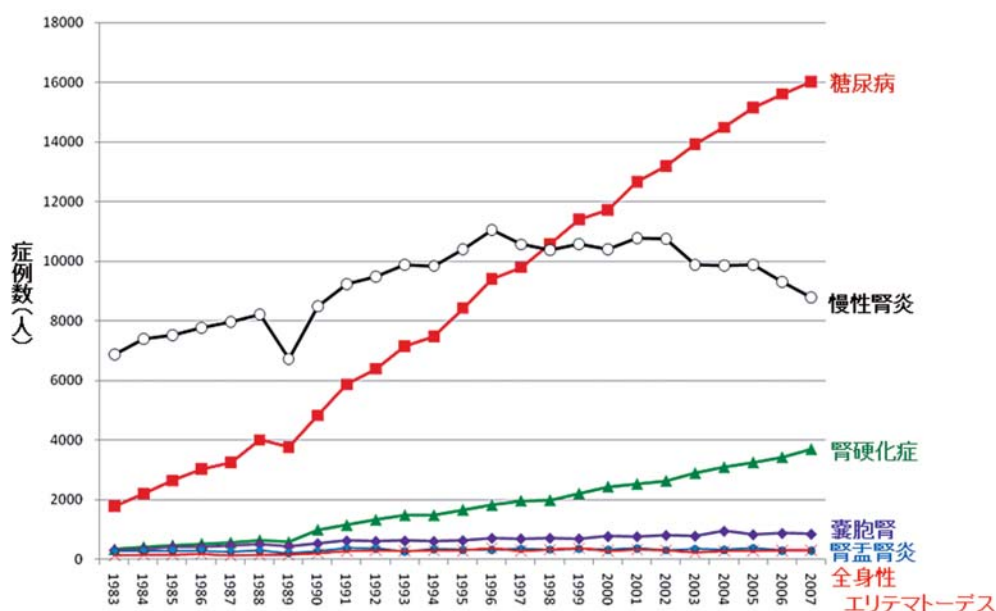
CKDの原因である腎臓の病気が進行すると腎不全になり、さらには透析を始めなければならない場合があります。図は透析を始める原因となった腎臓の病気の年々の推移ですが、わが国では糖尿病のコントロールが不良で腎不全になることが最も多くなっています。蛋白尿や血尿から気づかれる慢性腎炎の原因はよくわかっていませんが、糖尿病とともに増えつつある腎硬化症は、高血圧や老化により腎臓の血管が障害されることにより進行します。原因不明の慢性腎炎は仕方ありませんが、糖尿病や高血圧などの生活習慣病により腎不全になるのは防がなければなりません。



CKDはどのように治療するのですか？

腎機能を低下させないためには、糖尿病では血糖を、高血圧による腎硬化症に対しては血圧を正常に維持することが大切な治療です。慢性腎炎に対してはステロイドや免疫抑制薬など専門的な治療が必要になることがあります。原因は何であってもCKDの進行を防ぐためには十分に血圧をコントロールすることが重要です。具体的には、アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬やアンジオテンシン受容体拮抗薬(ARB)など腎保護効果に優れる降圧薬を中心に用い、収縮期血圧(最大血圧)を120～130mmHg以下に下げることが目標とされます。日常生活では、1日6g以下を目標に食塩摂取を控え、肉や乳製品など蛋白質をとり過ぎないことに注意します。

透析を始める原因となった腎臓病の頻度の推移



【病気療養中のやさしい食事について】4回シリーズ 第1回

食事の基本と栄養素の話

獨協医科大学病院 栄養部

健康のときは、楽しみの友人との食事や家族との安らぎのひとつときでもある食事が、病気になり食事療法が必要になった場合、または食欲がなくなった場合、なにをどれくらいの量を食べたら良いのか悩まれるかと思います。

食事ひとつでもわれわれ人間は、五感をフルに働きかけ、身体（心・体）に刺激と栄養を与えてくれます。たべることは人生の喜びと生きる意欲とも言っても過言ではないと思います。

身体を健康に保つためには主食・主菜・副菜を基本に栄養バランスの整った食事を組み合わせること、たっぷり野菜と果物からビタミン・ミネラル・食物繊維を、また牛乳・乳製品、緑黄色野菜、豆類、などカルシウムなど摂ることをお勧めします。



五大栄養素の働き

主食

主に**炭水化物**が多いです。

体を維持するためのエネルギー源であり、不足すると頭の働きが鈍ったり疲れやすくなります。しかし余分な炭水化物は脂肪に変化するので注意が必要です。

主菜

主に**たんぱく質**と**脂質**が多いです。

脂質は、体温の調節やエネルギー源として利用され、中でも必須脂肪酸は体の成長・発育や機能の調節を助けます。

たんぱく質は、筋肉や内臓、皮膚、髪の毛、爪や血液の主成分となります。

副菜

主に**ビタミン・ミネラル**が多いです。

三大栄養素の代謝を助け、体の調子を整えます。

カルシウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、鉄などがあります。

果物

3食ともに栄養バランスの良い食事を続けることや、

ご自身の食事量の適量を知ることが大切です。

「献体」という言葉をご存じですか。



献体事務室

1年程前の「病院だより」にこの書き出しで献体の紹介をさせて頂きました。その記事を読んで問い合わせ下さった方が多数有り、世間の方々は思っていたより献体に関心をお持ちであることを実感されました。

「献」の付く言葉で最も市民権を得ているのはやはり「献血」でしょうか。「献眼」、「献腎」という言葉もアイバンク、腎バンクといった言葉とセットで広く認知されているように見受けられます。「献体」はさかのぼれば約40年前に出来た言葉です。昭和58年には献体法が成立し、献体運動が活発になるにつれ献体という言葉もますます広まり、やがて



広辞苑にも掲載されました。

献体のシンボルとして登録者の方々が付けるバッジも作られ、全国共通のシンボルマークとなりました。現在インターネットで「献体」を検索すると約7万件近くの内容が見つかります。献体されたご家族の手記から始まり、献体に関する疑問や謎といった事柄までその内容は千差万別です。それでもやはり身近に献体された方や献体登録してる方がいないと正しいその詳細は知らないという方が多いのも実際の現状のようです。



献体イコール医学生の実習という図式は正しいのですが、もう少し広い視点で考えると病院で亡くなり病理解剖させて頂いた方々や事件や事故に遭い、法医解剖させて頂いた方々も医学・医療に貢献しているのですから献体されたといって差し支えないでしょう。

大学で毎年10月に行われる解剖慰霊祭はこのような主旨から病理解剖、法医解剖、正常解剖に献体された方々を慰霊するため全学を挙げて行われます。関係教職員をはじめ、主治医、看護師そして医学部、看護学部、看護専門学校の学生をあわせて約400人が参列し、お招きするご遺族と関係者来賓等を併せますと約800名が参列する大きな式典です。参列者全員が献花して献体された故人の冥福を祈る大学と病院にとってとても大切な行事です。

大学には慰霊祭で合祀申し上げて方々、さらには病院で亡くなった方々を慰霊する慰霊碑が西側の森の中にありますが、そのご紹介はまた別の機会に改めていたします。



お問合せ：獨協白菊会0282-87-2111



専門・認定看護師がお伝えする 健康生活情報



今月号から当院の専門・認定看護師が皆様の健康維持・増進、生活のヒントを中心に情報提供をさせていただきます。



～冬本番！正しいスキンケアをしましょう～

寒さの続く季節となりました。皮膚が乾燥してお困りではありませんか？

日本褥瘡学会では「スキンケア」を、次のように定義しています。『皮膚の生理機能を良好に維持する、あるいは向上させるために行うケアの総称である。具体的には、皮膚から刺激物、異物、感染源などを取り除く**洗浄**、皮膚と刺激物、異物、感染源などを**遮断**したり皮膚への光熱刺激や物理的刺激を小さくしたりする被覆、角質層の水分を保持する**保湿**、皮膚の浸軟を防ぐ水分の除去などをいう。』



つまり、「スキンケア」の3要素とは、

1、皮膚の洗浄 **2、皮膚の被膜** **3、皮膚の適切な保湿**です。

入浴後に**保湿クリーム**を塗ることが、**皮膚のバリア機能を最大限有効**にします。

保湿剤を塗るポイントは、背中であれば縦方向ではなく、横方向に、**皮膚のしわに沿って塗る**ほうが浸透しやすいため効果的です。皮膚は、体の中で最大の臓器です。毎日のケアで、健康な皮膚を手に入れましょう。



（皮膚・排泄ケア認定看護師 篠原 真咲）

● ● ● ● ● 編集後記 ● ● ● ● ●

病院だよりをお読みになっている皆様、あけましておめでとうございます。

私達編集委員は、病院だよりを通し、より多くの方々に病院を知って頂けるような最新情報を提供することを心掛けております。知りたい情報・ご希望・ご意見がございましたら何なりとお申し付け下さいますようよろしくお願いいたします。

今年は皆様や病院にとってどんな年になるでしょうか？病院の一番の話題としては、ドクターヘリの運航開始があります。1人でも多くの患者様の命が守れるよう活躍を期待したいと思います。

獨協医科大学病院だより第27号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111（代表） FAX 0282-86-4775

当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。

獨協医大病院 検索

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日／平成22年1月20日

編集・発行／獨協医科大学病院広報誌委員会

印刷／株松井ピ・テ・オ・印刷